

第61回（令和7年）県民功労者表彰受章者

事 績 概 要

（注）受章者の年齢については、受章日（令和7年4月16日）現在で表記しています。

事 績 概 要

地方自治功勞

前野 和美

津市 76歳



氏は、平成十五年四月、地域住民の推挙により、三重県議会議員に初当選して以来、五期二十年の永きにわたり、住民の信望を一身に集め県民福祉の向上と県政の推進に献身的な努力を重ね、地方自治の発展に寄与した。

この間、第百十二代議長、副議長をはじめ、産業振興調査特別委員長、県土整備企業常任委員長、生活文化環境森林常任委員長等の要職を歴任し、卓越した見識と情熱をもって、開かれた議会運営、住民本位の政策決定と政策監視・評価、独自の政策提言等に取り組み、二元代表制の一翼を担う議会活動の充実に多大な貢献をした。

特に、議長在任中には、議会資料のペーパーレス化に先鞭をつけるなど、議会におけるスマート化の進展に多大な貢献をした。また、議会活動計画最終年度にあたり、四年間を通じた議会活動の評価と提言をとりまとめるなど、議長としてその手腕を余すことなく発揮した。

このほか、四日市港管理組合議会議長、都市計画審議会委員に就任し、各分野において的確な指針と助言を与えた。

このように、氏の地方自治の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

教育功労

高臣 文祥

四日市市 78歳



氏は、昭和四十八年四月に学校法人高田学苑高田高等学校・中学校に社会科教員として着任して以来、永きにわたり教育活動に従事した。平成十九年に同校校長並びに同学校法人理事、平成二十二年には、理事長・学苑長に就任し、学校運営の責任者として建学の精神に基づき、学生・生徒の育成に心血を注いできた。

この間、学苑の経営及び教学面のより一層の充実を図るため、学苑長直轄の内部監査室の設置や、地域と連携した大規模防災訓練の実施、スポーツ関連授業・課外活動の充実強化、ICTの活用による質の高い学習環境の整備等に取り組むなど、学生・生徒の主体的・協働的な学びを大切にしつつ、確かな学力の育成に尽力した。

また、平成二十八年からは、公益社団法人三重県私学振興会理事長として、私学教育の充実や経営の健全化、安定的な退職資金給付による私学教職員の定着に取り組むなど、県内私立学校の振興に尽力した。このほか、三重県私立学校審議会委員、三重県私学協会副会長、三重県私学総連合会副会長等の要職を歴任するなど、県内私立学校の中心的存在として、その発展に大きく貢献した。

このように、氏の私学教育の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

文化功勞 ヴォーカルアンサンブル《EST》
津市 平成4年6月設立



本合唱団は、県内における本格的な室内合唱を目的として平成四年に結成され、ルネサンス時代から現代まで、幅広いジャンルの作品を演奏しコンサート活動を行っている。結成以来、着実な演奏活動を続け、国内のコンクールでは、平成十五年に、合唱界で最も権威のある「全日本合唱コンクール全国大会」で金賞及び最も優れた団体に贈られる文部科学大臣奨励賞を受賞するほか、令和五年には、「声楽アンサンブルコンテスト全国大会」で金賞に輝くなど、三重県の室内合唱の先駆者として数々の優れた成績を収めている。

また、海外のコンクールにも積極的に参加しており、ドイツやフランス、イタリア等の各国で開催されているコンクールで高い評価を受けるなど、国際的な活動も顕著である。

さらに、県内においては、団結成の翌年から定期コンサートを毎年開催するほか、「三重県合唱祭」への出演や病院・福祉施設での訪問演奏、県内の高校生とのコーラスワークショップへの賛助出演等、地元での活動を活発に展開している。

このように、本合唱団の芸術文化の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

保健衛生功勞

二井 栄

鈴鹿市 73歳



氏は、平成十四年四月に、鈴鹿市医師会理事に就任して以来、副会長・監事を歴任し、現在に至るまで二十三年の永きにわたり、理事・役員としての指導的立場から会員の融和と団結を図るなど、医師会活動の遂行に献身的に取り組んできた。

平成十六年四月には、三重県医師会理事に就任し、母子保健の推進や周産期医療の質の向上に取り組むほか、常任理事、副会長の要職を経て、令和二年六月に会長に就任してからは、三重県医師会の中心的な存在として卓越した指導力を発揮し更なる活動の推進に尽力した。

また、三重県医師会会長就任当初から、新型コロナウイルス感染症への対応が迫られる中、三重県行政との連携や協議を行うとともに、郡市医師会や会員向けの説明会、日々の情報提供による周知徹底に努めるなど、県民の健康を守るため、その手腕を余すことなく発揮した。このほか、地域医療構想策定や地域包括ケア関連事業をはじめとする地域医療の充実を図り、県民の保健・医療・介護・福祉の向上と発展に多大な貢献をした。

このように、氏の保健衛生の向上、発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

水産業功労

三橋 十九生

志摩市 81歳



氏は、昭和三十八年に真珠養殖業に従事して以来、全国でも屈指の真珠のつくり手として、高品質な大珠真珠の生産を奨励するなど、業界の発展に寄与した。

とりわけ、卓越した技術力のもと、長年にわたり養殖技術の指導と後進の育成に尽力し、県内産真珠の高品質化と真珠養殖業者の所得向上に寄与するなど、本県真珠養殖業の発展に大きく貢献した。

平成十五年には、神明真珠養殖漁業協同組合代表理事組合長に就任し、「神明花真珠」や「三重ブランド」による真珠製品の差別化に取り組むほか、ギネス世界記録に認定された「世界一長い真珠ネックレス」を完成させるなど、真珠のイメージ向上やPR活動を積極的に推進し、真珠養殖業の振興に努力を重ねた。

また、平成十七年からは、全国真珠養殖漁業協同組合連合会理事（指導委員長）に就任し、県内にとどまらず全国へ活動の場を広げ、積極的な技術指導と後進の育成に取り組んだ。さらに、平成二十年からは代表理事会長として、真珠価格の安定化に向け、計画的かつ効率的な一元集荷方式の入札を実施するなど、真珠養殖業者の経営の安定化に寄与した。

このように、氏の本県真珠養殖業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

商工業功労

朝尾 高明

熊野市 76歳



氏は、平成十四年に三重県中小企業団体中央会理事に就任し、豊富な知識と経験を生かして、時勢に応じた中小企業支援施策を積極的に展開するなど、県内の中小企業・小規模事業者等の発展と地域の活性化や組織強化に多大な貢献をした。

とりわけ、労働専門委員会副委員長として、中小企業の労働問題の早期解決や労働施策の充実強化等について、行政に対し積極的に訴えるなど、中小企業の安定的な経営力強化の実現等に尽力した。

また、三重県産木材の販路拡大に向け、地域の若手林業家と協力して、昭和五十七年に熊野原木市場協同組合を設立した。設立の際には、発起人かつ理事として行政等との調整を行うなど、中心的役割を果たした。翌年には、木材流通の要となる原木市場の開設に成功し、三重県産木材が熊野原木市場に集まる流通図式の確立に繋げるなど、県産木材の販路拡大及び地域林業の発展に貢献した。

さらに、平成二十八年からは、三重県森林組合連合会会長として、各県森林組合連合会等と連携し、「森林環境税」及び「森林環境譲与税」の創設に尽力するなど、後進に森林資源を継承していくための新たな財源確保に寄与した。

このように、氏の商工業の振興発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

土木建設功労

山下 晃

四日市市 81歳



氏は、昭和四十三年から今日まで五十七年余の永きにわたり建設業に従事し、災害復旧への貢献、遊休農地の活用等、地域の社会資本整備を通じた「社会貢献・地域振興」に尽力した。

平成二十一年五月に三重県建設業協会会長に就任すると、建設業で初めて、三重県との間で「家畜伝染病発生時の基本協定」を締結し、緊急時の支援体制を整備した。その直後、県内で初めて鳥インフルエンザの感染が確認された際には、協定に基づく速やかな支援活動により、早期の終息につなげるなど、地域住民の安全安心の確保並びに地域経済の安定に貢献した。また、南海トラフ地震に備え、携帯電話を活用し短時間で会員の安否確認・被災個所を特定する「情報共有システム」を構築するほか、大規模な災害対応実働訓練を実施し会員間及び行政機関との連携強化を図るなど、地域の災害対策活動に尽力した。さらに、建設業界の担い手確保に向け、協会として新入社員研修を実施し、会社をこえた同年代のコミュニケーションを作る場を提供するなど、若手人材の流出防止に努めた。

このほか、三重県建設産業団体連合会会長、建設業労働災害防止協会三重県支部支部長等の要職を歴任するなど、県内建設業界の中心的存在として活躍した。

このように、氏の建設産業の発展に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

環境功労

朴 恵淑

津市 70歳



氏は、平成十六年に三重県環境審議会委員に就任して以来、十二年の永きにわたり、県の環境保全に関する基本的事項について調査審議を重ね、県の環境行政を推進し、県民の健康で文化的な生活の確保に多大な貢献をした。

とりわけ、三重県地球温暖化対策総合計画の策定にあたっては、同審議会部会長として計画案をとりまとめるなど県内の環境施策を牽引してきたほか、三重県地球温暖化防止活動推進センター長として、県民の地球温暖化防止活動を推進した。また、レジ袋有料化の実施にあたっては、その先駆けとなった伊勢市の取組において産官学民連携の中心的な役割を果たすとともに、県内全市町への展開に尽力した。

さらに、三重大学の理事・副学長等として、全国初となる環境ISO14001の全学一括取得、3R活動、スマートキャンパスの創設、環境・SDGs方針の策定等、地球環境に調和した持続可能な社会の実現に向けた活動を推進するなど、同大学の環境先進大学としての評価を高めることに貢献した。

国際的な活動では、WHOアジア太平洋環境保健センター初代所長として、アジア・太平洋地域での環境と衛生の改善等、幅広く活動を展開している。

このように、氏の環境保全に寄与した功績はまことに顕著である。

事 績 概 要

警察活動協力功労

中 誠太郎

伊賀市 72歳



氏は、昭和五十二年から通算四十四年の永きにわたり警察犬所有者兼指導手として、県内警察犬の指導育成に尽力した。これまでに三重県警察嘱託警察犬として育成した数は三十二頭にのぼり、強盗、窃盗等の犯罪捜査による出動のみならず、行方不明者の捜索活動等昼夜の別なく出動要請に応じるなど、警察活動に多大な貢献をした。これまでに現場出動した回数は、百三十回以上に及び、永年にわたって培われた豊富な経験と指導手としての高い技術により、県内の犯罪捜査活動に貢献している。

また、昭和四十八年から、警察犬の育成、しつけ訓練等を行うドッグスクールを経営し、これまで数多くの警察犬を指導、育成するほか、訓練犬の世界大会に日本代表として出場するなど、その指導力は、県内はもとより全国の警察犬関係者から高い評価を受けている。

さらに、警察犬指導手が高齢化、減少する中、若手の育成にも力を入れており、これまで氏の元から独立した嘱託警察犬指導手が県内外を問わず活躍している。

このように、氏の治安維持に寄与した功績はまことに顕著である。